赤潮発生状況について

加藤慎治・萩平　将

赤潮情報伝達事業の一環として，県下における赤潮発生状況を取りまとめたので報告する。なお，赤潮発生時などの情報収集，現場における赤潮の推移状況，被害発生調査等は前年と同様の方法で実施した。

結　果

表1に平成15年の赤潮発生状況，図1に赤潮発生件数と被害件数の推移，図2に赤潮形成域の分布をそれぞれ示した。本年は11件の発生が認められ，前年より8件多かった。このうち，7月に播磨灘で発生した*Chattonella antiqua*による赤潮が原因となり，養殖ハマチに291,000尾，約6億6千万円の漁業被害が発生した。

その他にも有害プランクトンの*Cochlodinium polykrikoides*が播磨灘では初めて赤潮を形成し，また*Chattonella verruculosa*や*Karenia digitata*が赤潮を形成するなど，新興の有害種の発生が特徴的であった。

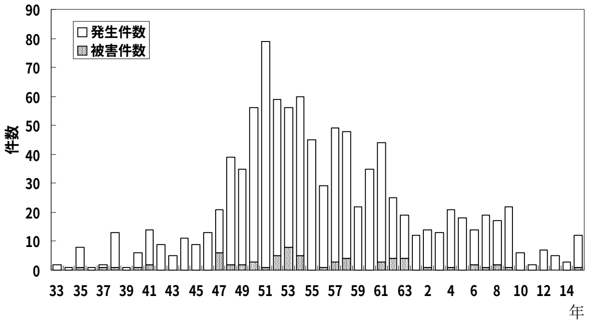

図１　赤潮の発生件数と被害件数の推移

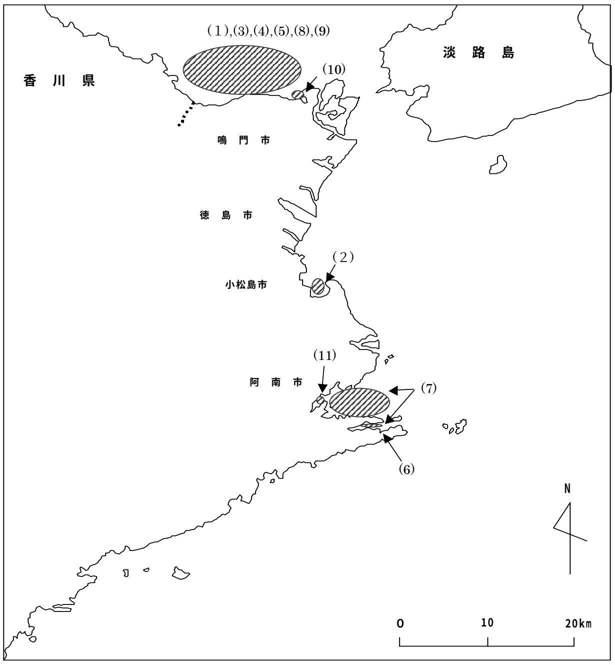

図２　赤潮形成域の分布

図中の番号は表１に示した赤潮の番号を示している。

表１　平成15年の赤潮発生状況

整理番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞数(cells/ml)	備考
1	4/10～4/20	11	鳴門市北灘町沿岸	*Noctiluca scintillans*	無	不明	
2	6/17～6/19	3	小松島市小松島湾	*Alexandrium catenella*	無	1,410	アサリ毒化。16.9MU/g
3	7/1	1	鳴門市北灘町沿岸	*Chattonella verruculosa*	無	1,450	
4	7/5	1	鳴門市北灘町沿岸	*Chattonella antiqua* *Chattonella verruculosa* *Fibrocapsa japonica* *Cochlodinium polykrikoides*	無	123 350 430 1,980	複合赤潮
5	7/12～7/16	5	鳴門市北灘町沿岸	*Chattonella antiqua*	有	292	
6	8/13～8/15	3	阿南市椿泊湾	*Mesodinium rubrum*	無	8,500	
7	8/19～8/21	3	阿南市橘～椿泊湾	*Chaetoceros*	無	18,000	
8	8/21	1	鳴門市北灘町沿岸	*Cochlodinium polykrikoides*	無	10,000	
9	8/28～8/31	4	鳴門市北灘町沿岸	*Mesodinium rubrum*	無	8,000	
10	11/3～11/4	2	鳴門市北灘町沿岸	*Karenia digitata*	無	240	
11	11/20～11/28	9	橘湾	*Prorocentrum balticum*	無	30,000	